

【公募情報】日本医療研究開発機構（AMED）「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業（三次公募）」

平成 27 年 7 月 13 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

7 月 8 日付で『循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業（三次公募）』について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1)応募意思の申し出締切：【平成 27 年 7 月 15 日（水）】

(2)応募書類一式提出締切：【平成 27 年 7 月 17 日（金）】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 提案書の提出方法：【e-rad】

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業（三次公募）

<http://www.amed.go.jp/koubo/010520150708-04.html>[外部ページ]

—公募概要—

【提出期間】平成 27 年 7 月 8 日～平成 27 年 7 月 28 日（火）（正午）

【研究開発課題（2 テーマ）】

（分野 3：生活習慣病対策分野 ア.循環器疾患（脳卒中を含む）対策に関する研究）

1. 脳卒中急性期治療の国際共同臨床研究に基づく新たな知見を生み出す研究
2. 先天性疾患の長期予後の視点に基づいた介入のあり方に関する研究

<1. 脳卒中急性期治療の国際共同臨床研究に基づく新たな知見を生み出す研究>

【研究費の規模】1 課題あたり 2 億円/年（間接経費を含む）

【研究期間】最長 1 年度 (2015 年度)

【採択課題数】1 課題程度

【目標】我が国における脳卒中急性期治療に関する多施設共同研究を円滑に効率よく行うための臨床試験体制を構築し、国際共同臨床試験への積極的な参加を促し、併せて独自の研究も行っていくことで世界における診療指針の構築に寄与するのみならず我が国におけるエビデンスを構築していくことを目標とする。

<2. 先天性疾患の長期予後の視点に基づいた介入のあり方に関する研究>

【研究費の規模】1 課題あたり 9000 万円/年 (間接経費を含む)

【研究期間】最長 1 年度 (2015 年度)

【採択課題数】1 課題程度

【目標】先天性心疾患の適切な介入のあり方を長期予後の視点に基づいて見出すことを目標とする。

【採択条件 (2 テーマ共通)】

- ・これまで一定以上の進捗が得られている研究開発課題を対象に、研究の継続により新たな知見を生み出すことができる可能性の高い課題を優先的に採択する。
- ・研究体制構築の具体的なプロセス・及び体制構築後に行う臨床研究(1)、データベースを用いた研究 (2)、について規模や具体的なプロセスについて具体的に記載し、その終了を見据えたロードマップを作成した上で、各年度のマイルストーンを明記すること。
- ・臨床研究におけるプロトコルに関しては、科学的妥当性を明確にするとともに、「臨床研究に関する倫理指針」等に規定する倫理審査委員会の承認が得られている (又はその見込みである) こと。各倫理指針等に基づき、研究の内容、費用及び補償の有無、利益相反の有無等について患者又は家族に十分に説明し、文書により同意を得ること。
- ・介入を行う臨床研究であって、侵襲性を有するものを実施する場合には、「臨床研究に関する倫理指針」の規定に基づき、あらかじめ、登録された臨床研究計画の内容が公開されているデータベースに当該研究に係る臨床研究計画を登録すること。
- ・その他、法律、各府省が定める省令・倫理指針等を遵守し、適切に研究を実施すること。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当

メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp